

えのさわ吉克県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

新年度 予算案

財政健全化へ財源確保求め

農業農村の競争力強化に3本柱

2月県議会で一般質問に登壇したばかりの袖ヶ浦市選出の江野澤吉克(えのさわ・よしかつ)県議は、一般質問から4日後の予算委員会質疑にも登壇し、県議会活動を精力的に展開しています。予算委員会では、一般財源の確保を求めて森田知事に質問し、知事も「事務事業の見直しなどでも財源確保に努めていく」と答えました。

一般財源の確保

江野澤委員 今回の予算は、新たな総合計画を策定後、初めての通年予算として、計画に掲げた施策の着実な推進を図るとし、子ども・子育て世代への支援や、社会基盤の整備、施設老朽化

このほか、今年10月に開催される「アキララインマラソン2018大会」の運営や、イノシシなどの野生獣の捕獲後の処理について、県当局の考え方をただしました。江野澤県議の予算委員会の主な質疑を特集しました。

厳しい財政状況

江野澤議員 千葉県の将来の発展のために、必要な事業は毎年、しっかりと予算措置していくことが必要と思うが、どのように財政運営を行っていくのか。

森田知事 本県の財政は、高齢化の進展による社会保障費の増や、公共施設の老朽化対策に伴う支出の増などにより、厳しい状況が続くことが見込まれるため、財政健全化計画を踏まえ、事務事業の見直しや県税の徴収対策の充実など、財源確保の取り組みを着実に進めてまいります。

農業農村整備事業

江野澤委員 国を挙げて、農業の競争力強化を目指し、さまざまな取り組みが進められています。農地や農業用施設などの生産基盤を使いやすい形に整備し、良好な営農条件を確保することが必要です。農業農村整備事業はその役割を担っており、今後ともますます重要な施策となってきました。

2月議会予算委質疑に登壇



予算委で委員長席に就く江野澤県議

「世代間の負担の公平」を図るために必要な財源として、建設地方債を活用したことから、

老朽化対策」、3つ目は、「ため池整備や湛水防除など農村地域の防災・減災対策」となっています。
江野澤委員 平成30年度当初予算はどのようになっているのか。
農林水産部長 農業農村整備事業関連の平成30年度当初予算案は、対前年度比103.3%の153億円を計上しています。
●事業効果が早期に発現されるよう、1年でも早く事業が完了することが、農家の方の願いであり、千葉県農業の発展につながることで、着実に事業を進めていただくようお願いいたします。国への要望に当たっては、事業の確保が図られるよう働きかけることを要望します。

●予算委副委員長の職責も果たす
えのさわ吉克 県議事務所
〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9 TEL.0438-75-8881 FAX.0438-75-8882

ちばアクアラインマラソン

知事「千葉にまた来たい」大会に!

マラソン団体戦など新企画



予算委員会で質問する江野澤県議

知事の意気込み

江野澤委員 「ちばアクアラインマラソン2018大会」が、平成30年10月21日と開催日が決まり、早いもので、開催まであと7ヵ月余りです。本県における最上級のイベントであり、この大会をどのようにして成功させることができるか、創意工夫をされているものと思います。改めて、知事の意気込みはどうか。

森田知事 国内はもとより、海外からのランナーや応援に来られた皆様を、日本のおもてなしの心でお迎えし、「千葉にまた来たい」と思っていたらよいような大会を目指してまいります。また、ランナーのみならず、観客やボランティアなど、関係するすべての皆様の思いに出る大会にしてまいります。

特別チャリティ枠

江野澤委員 2016大会の課題に対してどう対応するのか。

内藤教育長 輸送バスに関しては、ランナーのニーズに合わせるため、バスの必要台数や運行オペレーションを、また、仮設トイレに関しては、設置数や案内表示などについて、それぞれ見直しを進めているところです。

江野澤委員 今回の参加者募集で、新しい取り組み

江野澤委員 今回の参加者募集で、新しい取り組み

江野澤委員 今回の参加者募集で、新しい取り組み

江野澤委員 平成30年度当初予算案の増額の理由は何か。

内藤教育長 より安全安心に楽しんでいた沿道などの安全対策を強化するとともに、利便性の向上を図るため、フルマラソンのフィニッシュエリアとイベントエリアを隣接させ、エリア内に新たに着替えのための更衣テントを設けることなどが主な理由です。

江野澤委員 ボランティアの参加について、どのような方策を考えているのか。

内藤教育長 より多くの方々にボランティアとして参加いただけるよう、県民だよりやホームページなどへの掲載による公募の案内や、大学・企業への協力依頼を行っています。

環境生活部長 市町村アケートによると、埋設処理が最も多く、次いで焼却処理となっています。

江野澤委員 捕獲個体の処理にかかる先進事例には、どのようなものがあるのか。

捕獲イノシシの処理

江野澤委員 有害鳥獣対策については、私は、本会議で質問するたびに毎回取り上げていますが、それだけ重要な課題だと認識しているからです。

環境生活部長 捕獲個体の処理は、多くの市町村で課題となっていることから、引き続き先進事例を参考にしながら、市町村と意見交換を行いながら、処理の円滑化に向けた方法の調査・研究をより一層進める予定です。

江野澤委員 今回の参加者募集で、新しい取り組み

江野澤委員 今回の参加者募集で、新しい取り組み

歩道整備は予算増

江野澤委員 歩道やガードレールの設置などの交通安全事業について、平成29年度と30年度予算の増減はどうか。

国土整備部長 道路管理者が行う交通安全事業の予算額は、平成29年度6月補正後で47億円、30年度当初予算案では58億6千万円で、対前年度比約25%の増額となっています。

江野澤委員 通学路の歩道整備はどのように進めているのか。

国土整備部長 歩道整備は、歩道がないことや路肩が狭いことにより、歩行空間が十分でない個所、交通事故の件数や交通量が多いなど、緊急性が高いと判断されることから、優先的に整備を進めています。

放置竹林を整備へ

江野澤委員 放置竹林の整備は、有害獣の被害防止対策と連携し、地域で一体的に取り組むことが重要だと考えますが、平成30年度当初予算案では、どのような措置を講じているのか。

農林水産部長 イノシシなどの有害獣の被害防止対策では、耕作放棄地の刈払い等の地域ぐるみの取り組みと連携し、動物の隠れ家となる集落周辺の竹林整備を実施することが効果的です。

江野澤委員 今回の参加者募集で、新しい取り組み

江野澤委員 今回の参加者募集で、新しい取り組み

有害獣 捕獲個体の処理で要望



質疑者 予算委で答弁を聞く江野澤県議

農林水産部長 イノシシなどの有害獣の被害防止対策では、耕作放棄地の刈払い等の地域ぐるみの取り組みと連携し、動物の隠れ家となる集落周辺の竹林整備を実施することが効果的です。

江野澤委員 今回の参加者募集で、新しい取り組み

江野澤委員 今回の参加者募集で、新しい取り組み